

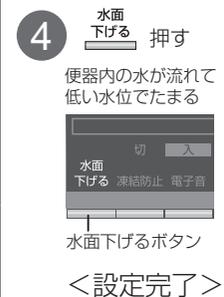
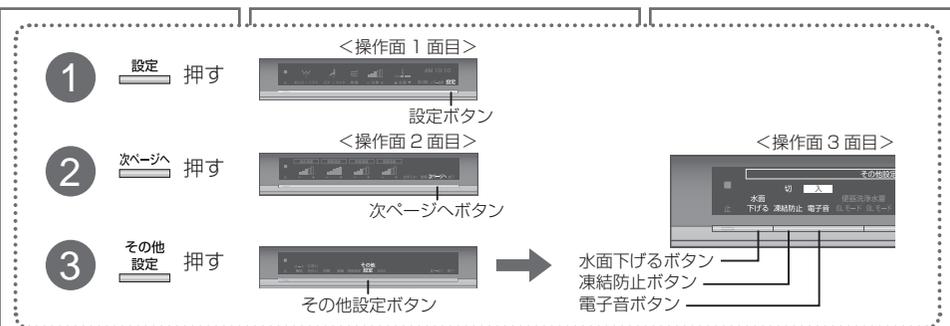
いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を
下げる
(水の跳ね返り低減や
検便のときなど)
水面下げる

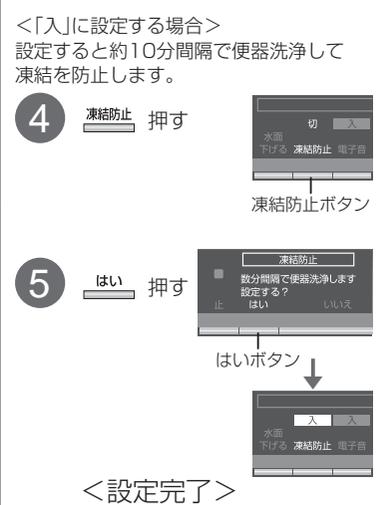
便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音

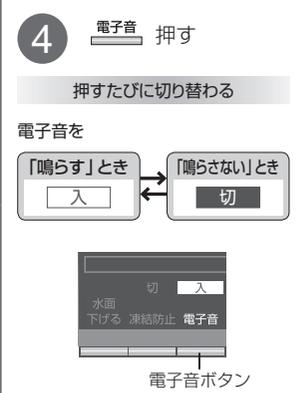


お知らせ

- 検便時に使用する
ときは「オート便
器洗浄」を「切」に
してください。
(P.30)
- 便器洗浄すると、
通常の水面の高さ
に戻ります。
水面を下げて使
いたい場合に、都度
設定してください。



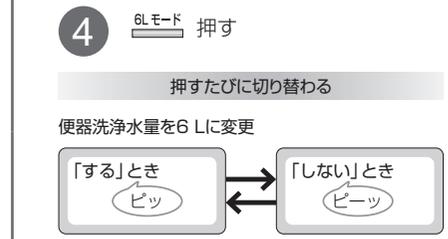
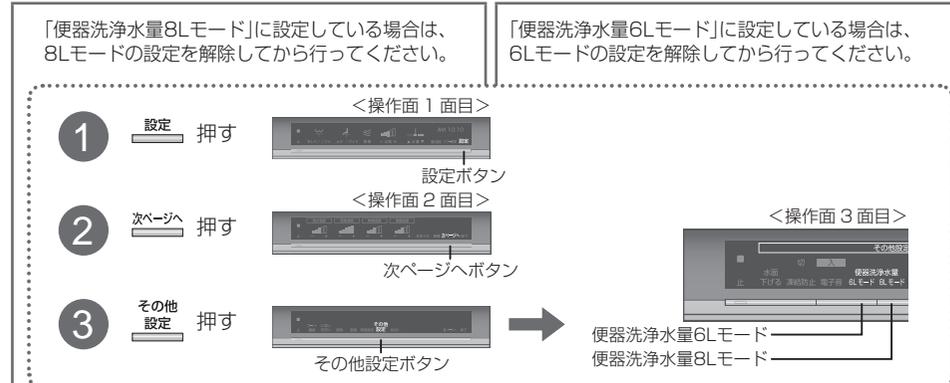
<「切」に設定する場合>
凍結防止 を押して
「切」に設定してください。



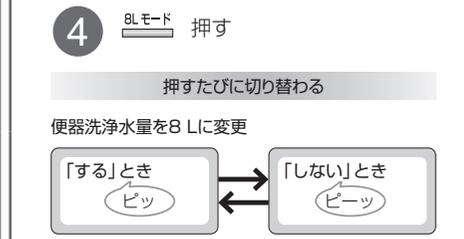
汚物が流れにくいとき
便器洗浄水量6Lモード

汚物が流れにくいとき
便器洗浄水量8Lモード

「故障かな?と思ったら」の「汚物がきれいに流れない」(P.60、61)の内容をご確認のうえ、必要な場合のみ設定を行ってください。



床排水の場合は洗浄水量が、
大3.8 L/小3.0 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。)



床排水の場合は洗浄水量が、
大3.8 L/小3.0 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。)



使
い
か
た

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.30)「オートふた開閉」(P.32)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.38)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 押す

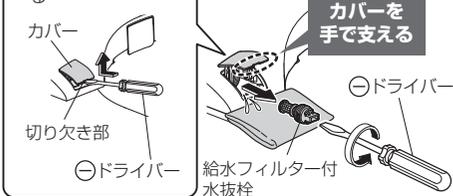
- ・給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

4 配管の水を抜く

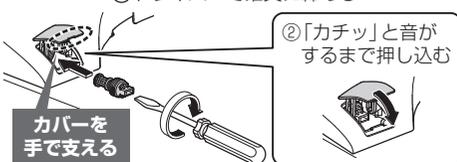
- ①便座・便ふたを開ける

- ②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける
- ③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める
- ②「カチッ」と音がするまで押し込む



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす

8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする(P.20、21)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(右記)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結の恐れがあるときは、凍結予防を行ってください。(左記)(製品が破損する恐れ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.47)で本体が上がった状態で水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

1 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき

止水栓または元栓を閉める(P.4)

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.56手順①)

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

2 ⑨流す大 を押してタンクの水を抜く※1

3 押す

- ・給水管の圧抜き

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く(P.56手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける(P.12) または、水抜栓を操作して、給水する

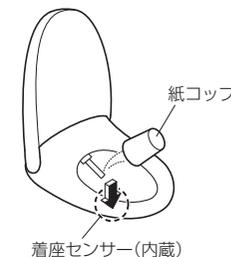
- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

3 ①ノズルから水を出す

- (1)手または腕で着座センサー部(詳細はP.8を参照)に触れたまま、
- (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
- ・水は紙コップなどで受けてください。
- (3)手または腕を着座センサー部からはずす



② ⑨流す大 を押す※1

- ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
- 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

4 便器に水がたまってから、もう一度 ⑨流す大 を押す※1

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。